

架空構造物の技術の変遷

Transition of aerial structure technologies

項目		年度		施設状況																																			
				1988	1989	1990	1991	1992	1992	1993	1994	1995	1996	1997	再編成時	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
電柱	木柱（万本）	418	366	326	288	259	232	204	181	152	114	79	1,210	1,206	1,200	1,196	1,194	1,191	1,188	1,187	1,186	1,186	1,185	1,185	1,183	1,184	1,184	1,184	1,184	1,186	1,190	1,184	1,184						
	コンクリート柱 および鉄柱 （万本）	878	919	952	979	999	1,018	1,039	1,057	1,078	1,112	1,137																											
管路（万km）		60	61	61	62	62	64	64	65	66	66	66	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62		
ケーブル（万km）		119	120	121	123	123	125	128	131	132	133	135	133	133	133	136	142	151	158	165	175	182	187	192	197	204	211	218	218	224	226	228	230						
とう道（km）		465	476	510	529	548	573	584	591	606	616	631	636	636	641	641	643	644	648	648	650	650	651	651	651	651	651	651	651	651	651	651	651	651	651	651	651	651	651

〔管路〕

マンホールとマンホール等の間を結ぶ管で車道や歩道の地下に埋設されており、管路の中に通信ケーブルを通すことで、ケーブルの引込みや取替えの工事を地面等を掘削することなく行うことができます。（概ね直径75mm）

〔とう道〕

多数のケーブルを収容する地下道のようなもので、人間がやっと通ることができる大きさから、直径5m（内径）に及ぶものまであります。交換機のあるビルの地下から四方に伸びています

〔ケーブル〕

基幹回線系ケーブルとは、中継交換機と中継交換機、中継交換機と加入者交換機を結ぶケーブルです。

加入者系ケーブルは、加入者交換機とお客様宅を結ぶケーブルです。

海底ケーブルは、本土と島、島と島を結ぶケーブルのことで、数多くの離島を持つN T T西日本は、N T T東日本と比較すると約6倍のケーブル長になります。代表的な長距離区間は、沖縄～宮古島間（319km）、宗像～対馬佐賀間（137km）等です。